

宮城県気仙沼市における大学プラットフォーム

Platform of Universities and Collages in Kesenuma City, Miyagi Prefecture

一ノ瀬友博*

Tomohiro ICHINOSE

東日本大震災における被害は東日本の太平洋沿岸の広い範囲に大きな被害をもたらしたが、それぞれの被災地に、日本全国から数多くの大学が、様々な支援に乗り出した初めての災害として記憶に残るだろう。阪神淡路大震災や中越、中越沖地震においても、大学は大きな役割を果たしてきたが、その中心は被災地を地元とする大学か、その周辺の大学に限られてきた。もちろん専門家として、遠隔地の大学教員が復興計画の策定等に関わることも一般的に見られたが、遠隔地の大学が学生とともに支援するということはあまりなかった。

報道やシンポジウムなどでうかがい知る限りでは、実に多くの被災地外の大学が復興支援にたずさわっている。筆者が学生たちと支援活動を行っている気仙沼市もその例外ではない。初めて訪問した被災後1ヶ月の時点でも、既に多くの大学関係者が市役所を訪ねてきたという話であった。ボランティアセンターという中間支援団体が存在するボランティア組織と違って、大学に関しては、情報を共有する仕組みが存在していないために、どこにどのような大学が入っていて、どのような支援をしているのかわかるすべはほとんどなかった。夏休みには、学生によるボランティア活動を含め、全国からの様々な大学関係者に現地であうことになった。かなりの数の大学の、そして実に様々な専門性を持った教員と学生が気仙沼に入っていることを知った。それは時には被災地の人々を混乱させることにもなっていたし、これらの力を結集すれば、相当のことができるのではないかなと思うようになり、大学間で情報交換をする

プラットフォームをつくれなかと考え始めた。

11月下旬に東京ミッドタウンで開催されたSFCオープンリサーチフォーラム（慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの対外的な研究発表会）のシンポジウムで菅原茂市長に特別講演をお願いし、その際に市と大学との連携について意見交換した。さらには、気仙沼で活動をしていた東京大学、早稲田大学の教員と交流する機会があって、気仙沼市の復興を支援する大学ネットワークの立ち上げを行うこととした。12月上旬から中旬にかけて、気仙沼市で活動している大学の情報を収集し、メーリングリストを立ち上げた。2012年1月10日に気仙沼市内において第1回気仙沼大学ネットワーク設立準備会を開催した。小野寺五典衆議院議員、菅原茂気仙沼市長、加藤慶太気仙沼市副市長にも参加いただき、8大学の関係者が集まり、何校かの大学が遠隔で議論に参加した（図-1）。そこでは、各大学の活動についての情報共有、そして情報発信を気仙沼大学ネットワークの目的とすることが合意され、また大学が連携するからこそできる支援を模索していこうという活発な議論が交わされた。1月中旬には、気仙沼大学ネットワークのFaceBookページを開設した（<http://www.facebook.com/KesenumaUniv.Network>）。2月27日には、東北工業大学（仙台市）で第2回準備会を開催し、正式に気仙沼大学ネットワークが発足した。3月中旬時点で、33大学、12の支援団体や企業、そして市役所から合計92名がメーリングリストに登録されている。

気仙沼大学ネットワークとして初めての

企画として、震災から1年を迎える3月10日から17日の期間に気仙沼市民会館において、合同成果展示会を開催した（図-2）。この展示会には、合計28プロジェクトが一堂に会した。それぞれ活動場所を示したのが図-3であるが、支援活動の粗密も初めて把握することができた。日本造園学会が気仙沼市で進めている東日本震災復興支援調査についても、千葉大学の木下剛准教授を始めとしたメンバーにより発表された。この機会は、気仙沼市民に大学等の活動を知らせるだけでなく、それぞれの活動主体間の情報共有の場ともなった。

3月下旬から4月には、気仙沼大学ネットワークの大学が共同して行う学習支援プロジェクトが予定されている。さらに、5月以降に、市役所の庁舎内に気仙沼大学ネットワークの活動拠点が確保される予定で、気仙沼市役所とも連携をしながら、気仙沼の復興を支援するプラットフォームとして機能させていきたいと考えている。大学ネットワークでは、メーリングリストに加え、FaceBookグループ（<http://www.facebook.com/groups/320075738026242/>）でも情報交換を行っているの、気仙沼市に関わりのある会員、これから関わりたいと考えている会員には、是非参加リクエストをかけていただきたい。



図-1 第1回準備会の様子



図-2 合同展示会の様子

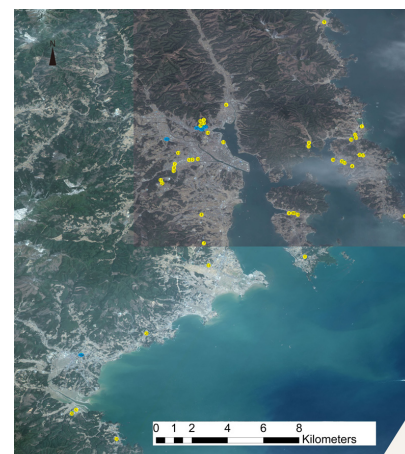


図-3 各大学の活動場所

* 慶應義塾大学環境情報学部 Faculty of Environment and Information Studies, Keio University